

一般社団法人日本数式処理学会 2025年度定時社員総会議事録

総 17004 号

一般社団法人日本数式処理学会会長濱田龍義は理事会の決議に基づき 2025 年度定時社員総会の召集を定款 35 条第 1 項により公示した。

また、この社員総会は、一般社団法人法第 49 条第 2 項の規程を適用し社員は書面によって議決権を行使することができることとする。

開催日時	2025 年 6 月 27 日 19 時 00 分 ~19 時 20 分
開催場所	神奈川県藤沢市亀井野 1866
総社員 (代表会員) 数	23 名
総会定足数	12 名
出席社員数	20 名
議場出席社員数	1 名
議場出席社員	濱田龍義
オンライン出席数社員数	15 名
オンライン出席社員	石原侑樹, 大墨礼子, 大橋真也, 小原功任, 工藤桃成 近藤祐史, 讃岐 勝, 関川浩, 中山 洋将, 鍋島克輔 野呂正行, 深作亮也, 藤村雅代, 藤本光史, 横山俊一
書面評決社員数	4 名
書面評決社員	木村欣司, 篠原 直行, 照井章, 中川重和
出席理事数	6 名
出席理事	濱田龍義, 鍋島克輔, 藤村雅代, 大墨礼子, 小原功任 中山洋将
出席監事数	1 名
出席監事	関川浩
議長	濱田龍義
議事録作成者	理事 大墨礼子

議長の選出

一般社団法人日本数式処理学会 会長 濱田龍義は、定款 37 条により 2025 年度定時社員総会議長に就任した。

定足数の確認

総会開催に必要な社員(代表会員)の定足数は、定款 38 条に定められた代表会員数 23 名の過半数 12 名であり、本会議の有効出席代表会員数は 20 名で定足数を満たしている事を確認した。

書記の選任

一般社団法人法第 58 条第 1 項, 第 59 条及び同法施行規則第 11 条第 4 項に基づき, 議事録を作成する者の選任をと諮ったところ満場一致で理事大墨礼子が選任された。

開会の宣言

一般社団法人日本数式処理学会 会長 濱田龍義は、定款 38 条により 2025 年度定時社員総会議長となり 19 時 00 分総会の開会を宣言した。

目 次

第 1 号議案	2024 年度事業報告	3
第 2 号議案	2024 年度会計報告	8
第 3 号議案	2025 年度事業計画	9
第 4 号議案	2025 年度予算案	11

第1号議案 2024年度事業報告

1.1 総括報告

濱田龍義 会長

2024年度事業のうち、大会は対面で開催し、分科会については教育分科会のワークショップを対面形式で開催した。学会誌の出版においては、例年通り『数式処理』を発行した。

1.1.1 理事会議決

大墨礼子 理事

2024年度(2025年度社員総会開催まで)の理事会は、下記の定時理事会4回、臨時理事会16回である。正式な議事録は議決後に発行される学会誌『数式処理』に速やかに掲載している。また、議事録の全文は、決定の直後に学会のWebページの議事録の項に掲載している(但し、退会者の氏名は掲載せず会員番号のみの掲載である)。また、一般社団法人に移行した関係で電子的投票は全理事の賛成と監事の異議申し立てがないことが議決の要件になっている。定時理事会は3ヶ月に1回の割合で開催した。

2024年6月定時理事会(理事会17001号)

代表理事選定、副会長選定。

理事会17002号

2024年度奨励賞に関する承認。

理事会17003号

委員長の任命。

理事会17004号

特別研究会開催の承認。

理事会17005号

大会プログラム委員、C.JSSAC編集委員、広報委員、分科会連絡委員、理論分科会運営委員、教育分科会運営委員選任。

理事会17006号

システム分科会運営委員選任。

理事会17007号

数式処理編集委員選任。

理事会17008号

入会承認。

2024年9月定時理事会(理事会17009号)

Mathematica分科会委員選任、退会報告。

理事会17010号

常任委員の任命。

理事会 17011 号

入会承認.

理事会 17012 号

広報委員の追加選任および任命.

2024 年 12 月定時理事会 (理事会 17013 号)

第 34 回大会の開催日程, 第 35 回大会の開催地および実行委員長決定.

2025 年 3 月定時理事会 (理事会 17014 号)

日本工学教育協会イベント協賛の承認.

理事会 17015 号

暫定予算案承認.

理事会 17016 号

大会プログラム委員会委員の追加選任および任命.

理事会 17017 号

女子中高生夏の学校 2025 後援の承認.

理事会 17018 号

会費免除承認, 退会報告.

理事会 17019 号

入会承認.

理事会 17020 号

決算承認, 定時社員総会招集.

1.2 会員状況報告

大墨礼子 理事

2025 年 3 月 31 日現在の会員総数は, 345 名である. 会員種別内訳は下記のようになっている.

会員種別	2025 年 3 月末	2024 年 3 月末	2023 年 3 月末	2022 年 3 月末
正会員	260 名	265 名	270 名	273 名
学生会員	34 名	33 名	34 名	32 名
名誉会長	2 名	2 名	2 名	2 名
名誉会員	10 名	7 名	7 名	8 名
会費免除会員	36 名	35 名	31 名	29 名
賛助会員	3 名	2 名	2 名	3 名
総計	345 名	344 名	346 名	347 名

1.3 学術的会合

1.3.1 一般社団法人日本数式処理学会第 33 回大会

小原功任 大会プログラム委員長

第 33 回大会を、次の日時および場所で開催した。

日時	2024 年 6 月 14 日 (金) ~ 6 月 16 日 (日)
場所	愛媛大学 城北キャンパス 南加記念ホール (愛媛県松山市文京町 3)
参加者数	21 名
内容	一般講演 (10 件, 内奨励賞対象講演 2 件)

最優秀奨励賞の受賞者は工藤桃成氏となった。

1.3.2 教育分科会活動報告

中村泰之 教育分科会運営委員長

第 17 期第 1 回ワークショップを次の日時及び場所で開催し、その内容に関する報告を数式処理に寄稿した。

日時	2025 年 2 月 21 日 (金)
場所	名古屋大学東山キャンパス 情報学研究科棟第 2 講義室
参加人数	8 名
内容	1 件のチュートリアルと 6 件の講演, およびそれらに関する質疑応答・議論

1.4 数式処理編集委員会報告

甲斐博 数式処理編集委員長

2024 年度学会誌「数式処理」の発行状況は、以下の通りである。

巻	号	発行日	ページ数	特集内容
Vol.30	No.2	2024 年 6 月	39 ページ	レター, 合同分科会報告, 教育分科会報告
Vol.31	No.1	2024 年 12 月	95 ページ	第 33 回大会報告, 国際会議報告

1.5 C.JSSAC 編集委員会報告

藤本光史 C.JSSAC 編集委員長

十分な数の論文が集まっていないため Vol.6 の発行には至っていない。

1.6 広報委員会報告

横山俊一 広報委員長

1.6.1 広報委員会概況

学会の情報発信・社会活動の一環として、学会ウェブページの運用を行っている。2024 年度は大きなシステム面での変更は行わなかったが、2020 年度よりウェブページにて公開している理事会議事録のアーカイブ形式を HTML から pdf 化し、現在もこの形式で運用を続けている。これにより、理事会終了から掲載までの作業をよりスムーズに行えるようになった。また、ウェブページの cvs 運用の変更、および複数サーバシステムの統合を検討している。例えば Google Workspace の導入や、オープンソースシステムの積極的な活用などが案として

出ているが、セキュリティ面の問題や運用の難易度等の調査を並行して進める必要があるため、慎重に議論を継続していく予定である。

1.6.2 サーバの稼働状況

2015年11月よりVPSレンタルサーバにて運用している。2024年度（総会后）の各種委員会の運用用メーリングリストは以下の通りである。ただし2024年秋より、一部のメーリングリストのアドレス変更が実施されている。具体的には「xx17@jssac.org」（xxは分科会名）から「xx@mlx.jssac.org」（xxは分科会名、mlの後のxは識別番号）に変更されている。ただしcongress, executive等は従来通りのナンバリングで運営されている。以下は従来の命名規則：

ML名	目的
congress17	代表会員の議論ならびに議決のため
director17	理事の議論ならびに理事会議決のため
executive17	常任委員会の議論ならびに運営のため
bulletin17	編集委員会の議論ならびに議決のため
cjssac17	C.JSSAC編集委員会の議論ならびに議決のため
prog17	大会プログラム委員会の議論ならびに議決のため
pr17	広報委員会の議論ならびに議決のため
modulate17	分科会運営の議論ならびに議決のため
system17	システム分科会の議論ならびに運営のため
theory17	理論分科会の議論ならびに運営のため
education17	教育分科会の議論ならびに運営のため
journal	「数式処理」編集作業のため
tech	web ページ編集作業のため
sty	jssac.sty 編集のため

1.6.3 会員メーリングリスト

2020年2月よりメール専用レンタルサーバにて運用している。ドメインはjssac.orgのサブドメインを利用している。2025年5月現在で登録者は66名である。2024年度の投稿数は22通であった。

1.6.4 ドメイン名の維持・管理

毎年6月頃に更新。2017年度よりサーバと同じ会社に管理を移管した。

1.6.5 「女子中高生夏の学校」への広報活動

「女子中高生夏の学校2024～科学・技術・人との出会い～」に参加し、日本数式処理学会の活動の紹介などを行った。

日程： 2024年8月10日(土)～8月12日(月)
 場所： 国立女性教育会館
 主催： 特定非営利活動法人女子中高生理工系キャリアパスプロジェクト
 (特別協力：一般社団法人男女共同参画学協会連絡会)
 後援： 文部科学省，内閣府男女共同参画局，国立女性教育会館，他
 参加者： 大橋 真也(11, 12日)，関川 浩(10, 11日)，
 照井 章(10, 11日)，藤村 雅代(10, 11日)
 主な活動内容： 実験・実習，ポスター・キャリア相談

1.6.6 「男女共同参画学協会連絡会シンポジウム」への広報活動 第22回男女共同参画学協会連絡会シンポジウムにおいて，以下の報告を行った。

日程： 2024年10月12日(土) 10:00～16:30
 場所： 中央大学茗荷谷キャンパス・オンライン
 主催： 一般社団法人男女共同参画学協会連絡会
 (幹事学会：一般社団法人日本応用数理学会)
 後援： 内閣府男女共同参画局，文部科学省，厚生労働省，経済産業省，
 国立研究開発法人科学技術振興機構，
 日本学術会議，独立行政法人国立女性教育会館，
 一般社団法人国立大学協会，
 一般社団法人日本私立大学連盟，中央大学，
 特定非営利活動法人女子中高生理工系キャリアパスプロジェクト
 主な活動内容： 「日本数式処理学会 活動報告2024」の提出
 (学会紹介，「女子中高生夏の学校」での活動報告などを掲載)

本議案に対し慎重審議の後，議長 濱田龍義は採決をおこなった。

投票の結果，賛成 20 票 である。よって議案は満場一致で可決と決した。

第2号議案 2024年度会計報告

大墨礼子 理事

2.1 収入の部

項目	予算	決算	摘要
前年度繰越金	2,016,386	2,016,386	
会費	1,300,000	1,058,000	
雑収入他	500	189	
合計	3,316,886	3,074,575	

2.2 支出の部

項目	細目	予算	決算	金額
大会費用		100,000	0	
分科会費用		290,000	16,800	
	理論分科会			0
	システム分科会			0
	教育分科会			16,800
	Mathematica分科会			0
数式処理発行費用		600,000	481,543	
	印刷費及び発送費 (Vol.30 No.2)			216,412
	印刷費及び発送費 (Vol.31 No.1)			265,131
広報費		41,000	29,210	
	VPS			10,890
	女子中高生夏の学校			10,000
	ML			1,320
	シンポジウム参加費			7,000
雑費用		100,000	43,470	
	通信費			24,090
	会議費			2,420
	ドメイン登録料			2,493
	雑費			14,467
運営諸経費		420,000	199,941	
	税理士顧問料			132,000
	登記費用			67,941
事務局費		100,000	61,824	

項 目	細 目	予 算	決 算	金 額
	レンタルオフィス家賃			61,824
租 税 公 課		70,000	70,000	
	法人住民税			70,000
小 計		1,721,000	902,788	
次年度繰越金		1,595,886	2,171,787	
合 計		3,316,886	3,074,575	

2.2.1 監査報告

関川浩・中川重和 監事

会計報告に対し、監事の関川浩・中川重和より以下の監査報告があった。

2024年度における一般社団法人日本数式処理学会の経理原票ならびに会計帳簿を精査した結果、会計処理が適正であることを一般社団法人日本数式処理学会2025年度定時社員総会に報告する。

本議案に対し慎重審議の後、議長 濱田龍義は採決をおこなった。

投票の結果、賛成 20 票 である。よって議案は満場一致で可決と決した。

第3号議案 2025年度事業計画

濱田龍義 会長

3.1 事業計画概況

2025年度事業計画は、学会の基本的活動である学会誌の出版と研究発表会の開催を中心に活動を行う。研究発表会については、社会状況の推移を見守り、必要に応じてオンライン開催についても検討しつつ、例年と同程度の活動を目指す。

3.2 定例事業計画

3.2.1 学術的会合

第34回大会 第34回大会を、次の日時および場所で開催する(理事会16006号)。

日程	2025年6月6日(金)～8日(日)
場所	福井大学
大会実行委員長	木村欣司

分科会研究会 理論分科会に関しては、7/26(土)に分科会をオンライン開催(Zoom)で予定している。

教育分科会に関しては、第17期第2回ワークショップを次の日程及び場所で開催することを企画中である。

日程 2025 年 8 月

場所 龍谷大学

3.2.2 学会誌発行

『数式処理』発行予定数は次の 2 冊とする.

巻	号	発行日	特集内容
Vol.31	No.2	2025 年 6 月発行予定	齋藤友克先生記念特別研究会報告, 特集論文, 分科会報告, 国際会議報告
Vol.32	No.1	2025 年 12 月発行予定	第 34 回大会報告

3.2.3 論文誌発行

『Communications of the Japan Society for Symbolic and Algebraic Computation』の発行予定数は, Vol.6 の 1 冊とする.

3.2.4 広報委員会

広報委員会では以下の事業を予定している

- 女子中高生夏の学校 2025 への参加協力
日程:2025 年 8 月 9 日(土)~11 日(月)
場所: 国立オリンピック記念青少年総合センター
内容: 実験・実習およびポスター・キャリア相談への参加予定
- ウェブページ管理方法およびサーバ運用方法の検討

本議案に対し慎重審議の後, 議長 濱田龍義は採決をおこなった.

投票の結果, 賛成 20 票 である. よって議案は満場一致で可決と決した.

第4号議案 2025年度予算案

大墨礼子 理事

4.1 収入の部

項目	金額	摘要
前年度繰越し金	2,171,787	
会費収入	1,300,000	
雑収入	500	
合計	3,472,287	

4.2 支出の部

項目	金額	摘要
大会費用	100,000	
分科会費用（4分科会）	200,000	
数式処理発行費用	600,000	Vol.31 (No.2), Vol.32 (No.1)
広報費	50,000	レンタルサーバ費, 「女子中高生夏の学校」費用等
雑費用	100,000	通信費等
運営諸経費	260,000	税理士費用
事務局費	100,000	
租税公課	70,000	
次年度繰越し	1,992,287	
合計	3,472,287	

暫定予算 参考のため2025年4月26日に臨時社員総会により議決された暫定予算は下記のようになっている。なお、暫定予算は、2025年度本予算に含まれている。

項目	金額	摘要
税理士費用	260,000	
租税公課	70,000	
雑費用	60,000	
広報費	10,000	
大会費用	50,000	
合計	450,000	

本議案に対し慎重審議の後、議長 濱田龍義は採決をおこなった。

投票の結果、賛成 20 票 である。よって議案は満場一致で可決と決した。

議長濱田龍義 は、全ての議事が終了した旨確認し会議の閉会を宣言した。

以上の決議を明確にするため、この議事録を作成し、議長、出席役員、議事録作成者がこれに記名押印する。

2025年6月27日
一般社団法人日本数式処理学会
2025年度定時社員総会

議長・会長	濱田龍義	Ⓜ
理事	鍋島克輔	Ⓜ
理事	藤村雅代	Ⓜ
理事	大墨礼子	Ⓜ
理事	小原功任	Ⓜ
理事	中山洋将	Ⓜ
監事	関川浩	Ⓜ
議事録作成者・理事	大墨礼子	Ⓜ